

## 第2回肝属郡医師会立病院再整備基本計画策定委員会 議事録

日時：令和3年9月22日（水）15時～16時

委員：石塚委員、大石委員、福本委員、木場委員、石畑委員、落司委員、  
松元委員、濱崎委員、小梅枝委員、鹿間委員、瀬戸山委員、西田委員  
※欠席：濱畑委員、山口委員、山内委員

事務局：（肝属郡医師会立病院）黒瀬事務長、伊比禮看護部長、出口看護副部長、  
坂上地域医療室長

（老健みなみかぜ）折久木事務次長、橋口介護支援専門員

（南大隅町）町民保健課 黒木課長、戸島課長補佐

（錦江町）有村副町長、

政策企画課 高崎課長、内木場参事、馬庭係長、福島主事

（アイテック（株）※委託業者）Web参加

### 1 開 会

### 2 協 議

#### （1）第1回策定委員会の論点整理について

（事務局説明要旨）

第1回策定委員会における委員からの意見について、事務局の考え方や対応策等を整理した。

〔運営形態〕

- ・ 事務局としては、病院の公設化は考えておらず、施設整備後も、引き続き医師会立病院として運営をしていただきたいと考えている。また、医師会の弱体化も踏まえ、新病院が長期にわたり、安定した運営が可能になるよう検討を進めていく。

〔施設規模〕

- ・ 病床利用率や、病棟の看護体制も考慮し、複数パターンを示した上で、詳細な試算を行う。また、介護施設については、現在のみなみかぜの状況等を検証の上、両町の介護ニーズ等も踏まえながら、移転の可否も含め検討していく。

〔財源〕

- ・ 過疎対策事業債を柱に、病院新築等に利用可能な補助金等の活用を最大限図っていく。また、国・県とも連携を図りながら、一層の財源の確保に努める。なお、地元県議会議員との意見交換や、県の補助金等の担当課とも協議を始めている。
- ・ 病院整備費用の医師会負担については、原則、求めないこととするが、既存施設の解体等、可能なものについては、負担をお願いしたいと考えている。

[住民意見]

- ・ 住民意見については、素案の段階で意見を聴取し、可能なものについては、計画に反映していく。

[その他]

- ・ 本事業の実施責任者は、今後決定するが、実施に当たっては、引き続き三者（医師会、錦江町、南大隅町）で連携し、取り組んでいく。

(委員からの意見)

- 県議会議員との意見交換の内容はどのようなものか。  
⇒ (事務局) これまでの経緯や現時点で考えられる財源などについて説明し、今後、可能なものについては御協力をいただきたいとの要望を行った。
- 今後も、そのような方々と連携を取りながら進めていくのか。  
⇒ (事務局) 必要に応じ、連携を取りながら取り組んでいきたい。

## (2) 建設財源について

(事務局説明要旨)

- ・ 現時点での病院建設に利用可能な財源等について説明

<補助金>

「鹿児島県地域医療介護総合確保基金事業補助金」

急性期、慢性期から回復期への病床機能の転換に要する費用の助成

「地域医療介護総合確保基金事業」

地域医療構想に即した病床の削減を行う場合、削減した病床に応じた給付金を支給

「鹿児島県医療施設等施設整備費補助金」

へき地医療拠点病院として必要な各部門の新築工事費への補助

「木造公共施設整備事業」

かごしま材の利用モデルになるような公共建築物の木造化、木質化に対する支援

<起債>

「過疎対策事業債」

充当率 100%、償還期間 30 年(病院の場合)、元利償還金の 70%は、基準財政需要額に算入

(委員からの意見)

- 両町の財政状況をみたときに、起債は認められるのか。  
⇒ (事務局) 適債性はあるが、県全体としての枠があり、無制限で借りられるわけではない。
- 建設費全額を借りることができるのか。  
⇒ (事務局) 制度上は借りられるが、他の市町村の要望もあり、県全体の枠で調整されるため、全額認められるかは、その年の要望状況にもよる。

### (3) 建設候補地について

#### (事務局説明要旨)

- ・ 2町から3か所の候補地が提出された。
- ・ なお、現在地は、急傾斜地崩壊危険区域など、様々な災害の危険区域に指定されているため候補地としなかった。
- ・ どの候補地も施設整備に十分な面積である。ただし、候補地③は、敷地内に土砂災害警戒区域が一部含まれている。
- ・ 候補地①及び②は、民有地のため、錦江町が取得の上、施設用地として貸与する。用地取得費は、錦江町で負担する。現状が農地であり、農振農用地の除外(候補地①のみ)や開発許可も必要となる。また、現在の耕作者との調整が必要になり、地盤改良と造成が必要になる。
- ・ 候補地③は、町有地のため施設用地として貸与する。整備にあたり、校舎の解体が必要になるが、解体費用は南大隅町で負担する。また、現在の空き教室の利用者との調整が必要である。土砂災害警戒区域の対策の検討が必要である。
- ・ 各候補地への自動車による所要時間は、どの候補地も現病院より南側になるため、一部を除き所要時間は短くなり、住民の利便性は若干向上する。

#### (委員からの意見)

- 錦江町の南海トラフの津波の想定高さは。  
⇒ (事務局) 南海トラフ地震における最大津波波高は3.18mとなっているため、候補地①及び②の場所の浸水は想定されていない。
- 錦江町の候補地は、民有地の農地であるが、事前周知はどうなっているか。耕作ができなくなった場合の補償等は考えているのか。  
⇒ (事務局) 候補地選定の際に、農業委員会を通して所有者、耕作者を調べており、病院建設についての了承は得られている。個別に条件のある方もいるが、中には代替地を求められている方もいる。現在、農業委員会とも連携をしながら、代替地の確保に努めており、既にある程度確保しているところである。
- 貸し付けは有償か。  
⇒ (事務局) 錦江町として事務レベルでは、無償貸与で考えている。

※ ここで委員長から、立地場所の代表として両町首長である木場委員、石畑委員、また、実際に診療を行う病院長である西田委員に、それぞれの立場から意見を求められた。

#### (南大隅町長(石畑委員)からの意見)

- 南大隅町としては、旧根占中学校以外にまとまった用地がなかった。
- 現病院は、錦江町神川にあるため、なるべく南大隅町に近い場所になれば、そこを候補地として、場所の指定まではしないということで、議会からの承諾も得た上で提案している。
- どの場所にするかについては、この委員会で決定していければと思う。

(錦江町長(木場委員)からの意見)

- 錦江町からは、二か所提案をしたが、このうち候補地①がより良い場所ではないかということで、議会にも報告をしている。
- 議会からは、農地の減少による農業振興への影響を懸念する意見もあったが、やはり病院はどうしても必要であると考えている。
- 南隅地区の多くの住民にとって利便性がよくなる場所であることから賛同いただければと思う。

(病院長(西田委員)からの意見)

- 候補地①が、利便性がよく、また近くに役場、消防署もあり、コンパクトに整備ができるのではと思う。
- 新しい病院ができることで、患者の流れが変わり、近隣の開業医の診療に影響がでないか不安がある。

(委員長まとめ)

- ◎ それぞれの候補地に特性があるが、客観的に決めることが可能と考える。
- ◎ 基本的には、患者のアクセスや利便性が重要と考える。
- ◎ 候補地①及び②は、利便性が高い。一方で、近隣の診療所との関係に配慮する必要もある。
- ◎ 候補地①は、土地取得はこれからだが、利便性・立地状況が、一番適しているという意見が多かった。
- ◎ 候補地②は、形状が不整形で、高低差もある。
- ◎ 候補地③は、学校跡で環境が非常によいものの背後が崖であり、土砂災害警戒区域に指定されている。また、候補地周辺が浸水想定区域に指定されており、災害対策の検討をしなければならない。
- ◎ 以上のようなことを、踏まえ合理的に考えると、候補地①が候補地に適していると考えられるがいかかがか。

[各委員より異論なし]

⇒ (委員長) 委員会としては、「候補地①：南部消防署付近」を建設予定地として、今後の議論を進めることとする。

### 3 その他

(委員からの主な意見)

- 現病院の駐車場は、ほとんどが職員駐車場である。職員駐車場は、必ずしも同一敷地内になくても良いので、コンパクトな病院のためには、職員駐車場を離れたところに設けることも検討すべきではないか。
- 病院が近くにないと、面会も難しい。医療の中身を充実して、なるべく鹿屋まで行かなくても済むようにして欲しい。

- 今回の病院整備に関し、地域の方々から様々な意見を聞く。人口減少の中で、病院で赤字が出た場合、誰が補填するのか。主体となるのは、病院なのか行政なのか。緊急時に備えてヘリポートも必要ではないか。医師の確保はできるのか。住民への説明会をどの時点でしてもらえるのか。住民の意見は反映されるのか。など住民が心配している。両町のホームページには掲載されてはいるが、住民の多くは関心がなかったり、知らなかったりする。もう少し住民に知らせる努力をして欲しい。
- 住民の意見を聞くための説明会は、今から行うのか。  
⇒（事務局）この委員会で素案としてまとめていただいたものを、新型コロナウイルスの状況にもよるが、住民説明会等で住民の意見を吸い上げる過程は必ず設けた上で、可能なものについては反映させながら、最終的な計画案としてまとめていきたいと考えている。
- 基本構想の計画では、財源面で両町の負担が大きいと考える。見直しの中で、老健施設の移転中止や、先ほど出た駐車場の件など、町民本位でコンパクトな施設となるように進めて欲しい。
- 住民説明会の際には、若い子育て世代などにも幅広く周知をして、意見も取り入れながら病院を作って欲しい。

#### 4 閉 会

